広報 まった 1988/10月

■発行 新潟県松代町役場総務課 電話 松代7-2220番 昭和63年10月11日

第347号





▲「長寿にあやかれる」ハナさんと握手する坂口福祉事務所長

昭和63年度 松代町長寿者番付表 (9月15日現在) 敬 称 略)

H X X		* 1 V	西		X - X - X - X - X - X - X - X - X - X -	H 19 A		X		東		
氏	2	部	落	生年月日 (明治)	満年令		氏	名	部	落	生年月日 (明治)	満年令
室岡	マツ	<u> </u> (W	納	25.7.17	96.1	横綱	小堺	ハナ	· 儀	明	22.2.5	99.7
植木	タマ	松	代	27.3.24	94.5	大関	中村	スギ	松	代	25.7.25	96.1
高橋	キノ	小芹	荒戸	28.6.7	93.3	関脇	石沢	昌美	海	老	27.12.22	93.8
関谷	キン	松	代	29.5.16	92.4	小結	山本	オキ	<u>₹</u>	地	29.4.15	92.5
高橋	岩吉	儀	明	29.10.20	91.10	前頭	山本	ハツ	犬	伏	29.9.25	91.11
山岸印	息太郎	片机	ijШ	30.1.17	91.8	2	市川藤	泰一郎		沢	30.1.17	91.7
柳	カツ	犬	伏	30.4.18	91.4	3	山岸等	5四郎	寺		30.4.5	91.5
高橋	ŧΞ	松	代	30.7.1	91.2	4	佐藤	儀勝	室	野	30.6.24	91.2
小堺	ヤス	蒲	生	30.7.30	91.1	O.	井上	ツヤ	寺		30.7.20	91.1
斎藤コ	・クノ		 3倉	31.1.4	90.8	6	鈴木	ヒサ	松	代	30.11.23	90.9
寺崎は	ラクノ	松	代	31.3.6	90.6	7	若月3	小太郎	海	老	31.2.26	90.6
石沢	操	海	老	31.10.9	89.11	8	島田	マサ	干	年	31.6.24	90.2

お内 寿の祝福 紀い状 さん 閣 東頸 占 理 (儀明・ 城 大臣 と記 壮 付 訪 上と県 念品 東 福 12 太旧 横 ました。 祉 を携え、 知事 緬、 事から 務 宅に坂 所長 Ę 前 \mathcal{O} が

内で四人い

る儿

十九

成

0)

頂

-

午

代

田

「おめさんもたっしょだのお」と植木さん

ます。 頃起きて

着占したセーターをほ

親 ζ.

せきの人にくれたり文化祭

肩かけなどに編み直

出品したりするそうです

よくよせず、

実に寛大

お母さん

松代 弱り、 他に、 人で自 原タマさん 寝ている日 で二番目 この 日は、 役場 一由に歩くことができず 残 中でも、 念ながら家の 在は高齢の 0) から が多 $\prod_{j \in J}$ (天水越 解者の 福祉事務 囲」 いそうです。 K っため足が こに次い Ш 中を一 社会課 界ハナ 所長 町 0) 福

> さんに囲 で の は・か 露す 駆 0) る り・顔 0 か 色も良 け せました。 など居合わ 0 代 ました。 あ まれ、 表の方々がお る声 と部 で歌を う 大勢の れしか みんなの せた人たち ど人人ク 祝 曲 お -) V. 客 披前た 13

小と 健 間 趣 康と長寿の 食 をせ 味を持つことがどうや ず、 秘 腹 訣のようで 分目 Ø) 食

かんさんさんさんさんさんさんさんさんさんさんさん

次

町宅に十るる植木の

社.

会課長らが

寿を祝福しました。

お祝

状

人と記念品

を届

そうでした。

耳

が遠くなっ

たも

D)

植

度

中に

五歳に達

以前、

タマさんの家でも

町

長

祝

木タマさん(おけや・

叫

を

飼っていたことがあり、

业 4:

いで町

b

か

七年三月二十

јц Ц

生

秋 時

方面

で事業をして

山町 その

訪

問

が実にう

te

60年の道程を クニさん (田 といううらやまし 緒になって六十年 いころから こいど)のお二人。 夫婦の高橋忠平 いダイヤモンド婚 に携わるなど、 を議員として町政 までの三期十二年 十八歳から七十歳 忠平さんは、 したの 16 沢 々な 町

孫さんが学校に出かけるの

を

族みんなで朝食を済ま

₽,

お 家

ぶる健康なタマさん。

見送るとまた一

眠 り

Ĺ

時:

趣

味

の編み物を始

8



家夫婦仲の良いのが自慢です

きた方です

れました。 かけた意気込みを静 道路 と若かりし当時、 私 0 かいこ 1 ·べてだ 1.1 話さ 道に

不自由なため一人で歩くこと 現在は、 病気を患 V) 右 1/ 身

祝 金

ぇ (同・ぜんざえもん) ◎宮 げんばち) ◎関谷耕作・ 沢栄太郎・ヨカ*ポ (下山 ◎関谷嘉吉・ツヤル となり)◎高橋寛一・ た)◎宮沢正雄・ノヘぎ 品を贈呈しました ΗJ 十五組の皆さんに記念 Π では次の金婚夫婦(五 さとみや) ナ ぇ* 郎 (蓬平・ごぜん 〇 小 松 ~ | 堺浜 + キヨ 海 (同 |雨|

> なっ が短 貴 ているというの 日記も、 たとは から 今は左手で書き かさずつけている Ļ, 頭 が下 右半 です 二十六歳 が る思い から ネ 白 畤 由 が 17 \mathcal{O}

切であることを再認識し 相 7 家内が なけ 手 す」と家の 言に尽きます。 Ø) ればとい 숬 ĹIJ Ľ 満である 持の思いやり 仲 ち 当さん が 良 つも思っ 4 いるため 二人を見習 い夫婦 ŧ かゞ (大 13 \mathcal{O}

婦

柳達太郎・喜栄で クざ (犬伏・ ◎佐藤栄四 ぶらや) ・おおしも) 仙 トクエゑ(蒲生・こうじ \blacksquare カ ツ ん^{*} あら ◎室岡三蔵 たなか) 〇山岸正 ◎佐藤累・キンざ 郎・ヨシノさん さか <u>し</u>き 〇 柳 Ш-<u>Т</u>-3 もとや) 勝 お Ţ. ◎牧田 やじ) 決郎 ・ シ 地 かったさ 示 ř あ 0 大 叵

ませるままなし

しゝ 囲丁 よいよ大詰 史』発刊 向 け て

でした。 れれ なかには、 、ます。 れば、 0) 稿の集約状況 編さん室は、 四十数名 務多忙の方もおら 高齢の先生もおら 九月上、 の執筆者の 全くの戦場

ります。 受けて差し の先生の厳しいチェックを折角いただいた原稿も、監 戻される場合もあ も、

九月いっぱいで全員の先生方 たずねしても留守、 と、とにかく諸先生の から原稿を出していただこう へ足を運びました。 ある先生のところでは、 別の先生 お

てきました。 れども留守。 ところで用を果して、 かわ しばらく門前 V3 少女が帰 再訪

「あんたは、 ここの子?

> ドアの いる。 くるまで、 らなそうに庭石を伝い歩いて ドアは開 いよ。カギかかっているよ。」 ちゃんもおばあちゃんもいな 「ふーん」といった少女は、 に お父さんとお母さんが迎えに ちゃんの家なの、 「ちがうの、 いるの。 ノブに手をかけたが、 かない。少女はつま おじいちゃんの家 「あのね。 ここね、 わたしねエ おじい おじい

さんとお話しながら待つかね ちゃんとお友だちなんだよ。 待っているんだ。どお、おじ おじさんもね、 を待とう。そう思った私は、 いっしょにおじいちゃん先生 「このおじさんはね、おじい よし、この子の相手をして おじいちゃん

婦の所で父母の迎えを待つの と塾へ行き、 学校三年生で、 少女は人なつこかっ 終わると、 学校 かびひ た。 小 老夫 ける

> 私 そうだろうな、と思いながら はこんなに遅いことないの もこんなに遅いの」「い お父さん、 黄 香の お母さんは 1: げ

答室 ちらの集約状況を説明する。 くなったということだった。 稿が欲しいことを訴える。 なんとか、 る。進行状況をお聞きし、 談ならぬ、 両 老夫婦は、 ゃん先生が帰って来られ 2ち人現 少女は両親と帰っていった。 親の車を迎 へ上げてもらって早速商 わ 九月いっぱいに お 原稿のお願いであ るついに えに回らせて遅 呼ばれで少女の おじ いち た。 . 原

の押問答である。す。親しい仲だか る。 さんが私に肩 \mathcal{O} が嬉しかった。 で持つ だからよいもの

ことだったが、先生と握手し を済ませて帰るようにという いし、何かとるので夕食

漸 く原稿の全部が、 こんなことを繰り やがて集 返 7

> 約されるところに来てい 注文申込書で ます

は まされ

る

定室では

町

史

0)

申込みを

·喜

髪し

編さん・ なかったときは、 ています。七百台で一時延び いただきながら、一

いろ

十月中旬までには何とかす いや、それでは困るんで 茶を出す奥 てくれた

)空を見 つも いつ

九月中. 出身者に二度目のお願 注文を受けて喜び、 いろ意見がでました。千台の たのではないか、とか、 りの発送が〆切までに早すぎ しました。 大台へ夢ふくらませています。 旬町外に出ている郷 町史のしお 千五百の

ことがわかりました 名簿以外の所へ移動し クするのが大仕事でした。 大変多くの皆さんが 人の選別を名簿の上でチェッ それと、この仕事を通して 注文をした人と、 未 そ 注 п 窓会 いる 文 0

ています。 欄には、 皆さん方からの注文書、 町 外の皆さんのひと言町 ひと言が書 通 か 外 信 0

そのいくつか拾ってみます。

大変なお仕事御苦労様です 遅くなりました(注文)が がんばってください。 くお願いします。 大丈夫でしょうか。よろし ています。 労の結果を楽しみにいたし っています。 くもなつかしくも、 変っていく田舎を .E します。 京以来三十 宜しくお願 皆さまの なります (N 子) <u>K</u>了· 日々想 御 い致 #

年を重 を知ることができます。 お骨折り頂き深く感謝して 松代町史をつくるにあたり てほしいです。 なくても、 しくなります。 感謝 ます。 申し上げます。 ねる度に、 お蔭で郷土の 永久に名は残し 濁の村こそ 故郷が恋 (下生) (R男)) 歴史 孠

Ų i

を

山土

です。 等 ださる例が多いよう 年輩の かたがたが

だ・ い・故 、郷 忘れられ る文もあります。 むか ず、 ろ・ら の・遠く 発展を願 やまだいられ、離れて、まつ を

固定資産税を納める人 (納税義務者)

固定資産税を納める人は、原則として固定資産の所有者です。 具体的には、次のとおりです。



ただし、所有者として登記(登録)されている人が賦課期日前に 死亡している場合等には、賦課期日現在で、その土地、家屋を現に 所有している人が納税義務者となります。 町れ定を(在日村る資所こで(で、一固 定 村 税産 有れ 定 産 紨 頟 0 ら土賦 資 をその 地課産税 価 7 を る税金です 格い固 期税と をもとに見定資産と る定家日はは **資産** 人資屋 と毎 償い年 あ そ 却 う 月 う 資 る 定 0 産現-き、固



性税のはなし①



固定資産の評価替えとは何 ですか。

固定資産税は、固定資産の 価格、すなわち「適正な時価」

を課税標準として課税されるものです。 ですから、本来であれば毎年度評価替え を行い、これによって得られる「適正な 時価」をもとに課税を行うことが納税者 間における税負担の公平に資することに なりますが、膨大な量の土地、家屋につ いて毎年度評価を見直すことは、実務的 には事実上不可能であること等から、3 年間評価額を据え置く制度、換言すれば、 3年毎に評価額を見直す制度がとられて いるところです。

この意味から、評価替えは、この間に おける資産価格の変動に対応し、評価額 を適正な均衡のとれた価格に見直す作業 であるといえます。

昭和63年度はこの評価替えの年に当たっています。

税額算定のあらまし

固定資産税は、次のような手順で税額が決定されます。

固定資産を評価し、その価格を決定し、その価格を もとに課税標準額を算定します。

課税標準額×税率=税額となります。

税額等を記載した納税通知書を納税者あてに通知します。

価格の据置措置

土地と家屋については、原則として、基準年度(3年 ごと)に評価替えを行い、賦課期日(1月1日)現在の 価格を固定資産課税台帳に登録し、第二年度及び第三年 度は、新たな評価を行わないで、基準年度の価格をその まま据え置きます。(昭和63年度が基準年度となってい ます。)

ただし、第二年度又は第三年度において①新たに固定 資産税の課税対象となった土地又は家屋、②土地の地目 の変換、家屋の改築などによって基準年度の価格による ことが適当でない土地又は家屋については、新たに評価 を行い、価格を決定します。

第 П 東部和 牛改良共進会

曲 さる 滝沢 県知事 ŧ,

ん)主催 当 [] ·改良組· 市場跡 去る八 は、 進 八月三十 合 会がありました。 による第 地 松代 で東 (会長 頸 Ц 松之山 高 城 4 回目の 僑 郡 前 紀元さ 東部 両 和 囲」 和 家

され、の から合わ により綿 肵 長さんはじめ五人の クラスに H せて二十八頭 一審査されました。 越 家畜保健 別かれて出 審查 0 徫 牛 員 生 <u>цц</u> が

> 張るなど和やかな雰囲気で進 おいしそうな匂 審 漂い、 E査が られました。 脇では、 審査の結果 が設けられ、 進 焼きたての牛肉を頰うな匂いが会場一面 牛肉の試食コー 方で会場のテン は いが会場一 牛肉の焼け た

◎最優秀賞

▽一部 越畜産振 (十二ヶ月未満 興協議会長賞

高橋紀元さん(

知事賞に輝やいた佐藤さんとちよこ 月未満 マ --部 莇平)・紀美号 県経済 (六十ヶ 連上 越

支所長 步 寺田)かずよし 井上修平さん(

滝 沢) 月以 藤 $\dot{\mathbb{H}}$ 知 Ĩ: 松さん (事賞 ちよこ3

岁

マ 三

部

六十

. ケ

0

さん す 室 岡 竹所) ∇ 部 義さん ▽三部 はるみ号、 [司] 1 1 (蒲生) (ii) (ii) 條 \subseteq 滝沢安雄 ひめし 部 さん

> 他 0 出 品者に は 優良 賞

三年後 輸入牛肉が完全自由化 0 昭 町の畜産農家に 和六十六年 兀 月

級化

志向。

城牛の

の底力を

世

中は

まさに

4

物

高

揮してほ

いも 頸

のです。

良賞がそれぞれ授与されまし 佳

とっ

新し

Ų a

課

題

か

待

ちう

7

ŧ 0)

天水越) ととは ら号 には、 ځ れるなど、

ぞれ一チー 署を代表して采道・ れました。 各署管内の警察官が指導して 催されまし 会が去る七月二十四日、 新潟県警察少年柔道 いる各道場等の少年達より、 市鳥屋野潟体育館において開 新潟県警主催による第 た。この大会は、 \angle か 参 加 剣道それ して 剣道 亿 新 Ш 潟

となり、 合を重 果 署と与板署との対戦 予選はリーグ戦で、 教室の少年達が署 安塚署管内でも、 0 ねて試合に望みました。 て日ごろの チームに対しても接 敗退 存より特訓 揮されてい してしまい 0 らとなり、 新潟中 ましたが 特 剣 رمجد 訓 対 道 代 の成 外武表 剣 央 道



惜しくも敗退、松代剣道教室チーム

大会に出場しています ような大きな大会は 選手達も心と技術の またこの大会の 剣 成長したもの 道 教室も、 的止及び 'n. と思 Ħ 健 午各 初 的 が い面め 種

なお与板

ムは三位

敗

三
分

少年剣道大会 県

果 りさらに青少年 日指すとともに、 成を図り、 رثم ることを目的とする』と唱わ 交流による友情と連帯意 れているように、 は、 ti るものと思われます。 かな少年の育成に寄与す 次のと 出場選手及び試 もって心身ともに **模意識** おりです。 健全育成 今大会によ 年 の 间 相 合結 識を かぎ 図

次鋒 将 取)試合結 新潟 関 関 関 谷 中 谷 和 英 板 央 果 彰 努 (蒲生小六) 松代中 ij

先

鋒

宮沢

松代小六)

◎安塚署・

松代剣道チー

(f) 1545-201 1845-200

YAMAHA

メインスピーカー

役立っています! 「自治宝くじ」

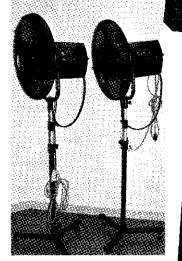
機材をご利用ください

されました。 とを目的として、『自治宝くじ ィ活動の活性化を推進するこ 育響機: 内容はの ミュニティ この度、 (I) X 材と 田」 助成事業』 民 インスピ 照 明機材が整備 のコミュ によ 力

2 台、 ⑧カセットデッキ ①モニターアンプ1台 1) エフェクター1台 ャンネルミキサー1台、 バーブ)、⑦マイク10本、 ③メインアンプ1台、 (デジタ M T R

台 ②モニタースピー カー

♂ 行事等に活用され 総合体育館に ポットライト2台 ·スポットライト4台が 尺 ルチケーブル1 の皆様から、 配備されまし ますようご 地域 ① フ 内 \Box (1) た。 ア 川



▲スポットライト

生き方

のうま

人間、

ヘタな

間

本

金は

天下

0 口

r)

₹,

 \mathcal{O}

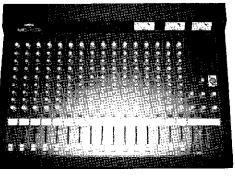
福富太郎

代議士の妻たち

家田

▼チャンネルミキサ

®YAMAHA



ご利用についての

松代町公民館(7)-2301

松代町総合体育館(7)3752

までお願いします

▼モニタースピーカー

お問い合せは

0 遊び心 夢みる雑草たち 危険 美智子妃 不機嫌な恋 優雅で感傷的な日 虫ケラどもをひねり 泣かないで女歌 な話 人 本野 中島 古永 高橋 加 大前 原 潰 原 瀬 <u>)/J</u> 球

花

嵐

0)

森

તે

か

 \langle

高樹の

Щ 休

郎

笑える金言、

つかえる名言

ケンと夏みかん

椎

名誠 ぶ 子

姑ばなれ嫁ばなれ 頭 翔んでる警視 人生は花いろ女い 人たちとの夏 0 深き淵より 銀行利用 法 星野 Ш 胡 Ŧ 野 桃沢耕史 峰三枝子 不陳平 **小元教子** 富弘 太

☆公民 儿 利用 龟 ン セツ \Box 館 記 卜、 あ × 書室は ります。 総 藤 チ 合 井 ホ 他多 テ

数 満

案

公民館図書室より

たとえばくに

明 を

日 Ųβ

はなくとも

扩

 \Box

本経済入門2~

4

石川

正

石ノ森章太郎

バアバ ケない

よ大志

だけ テ

黒柳

朝 Ш

松

ひと目でわ

かる

ボ

ケ

か゛

ŋ

高

森

みゆ 小百 + 源 聖了 弘達 勝 鮍 研 É 美 合 明 郎 一隆

案内いたします。

Ī

1.

はずる

Z

切 ピ

中 小島 沢

也郎

欣

禎

公家に

嫁

がやってくる

コツがあ 曇り 維 失敗という人 新 四十 0 前 ち 夜 代 晴 からの生き方には n 八生はな 舞 鈴 峕 塩月弥栄子 安部譲二 木 根 末

ル 也 明月

お気軽 セン 夕

65歳になったら

自給付があります。 る人を対象とした国民年金 て国民年金保険料を納めてい 族) と、 の基礎年金 的年金制度に共通する三種類 [民年金の給付には、 一号被保険者とし (老齢・障害・遺 独

らっ 玉 間 った日(初診日)のあに初めて医者に診ても 民年金に加入している

0

給されます。 以上ある人に65歳から支 期間との 納 合計期間 付済期 間 nが 25 年 と免除

希望によって繰上げ しましょう。 ますので、請求は慎重に II ますが、一生減額される 歳から4歳) 受給もでき か、多くの制限があり 60

〇老齢基礎年金額は、 あります。当然ながら増 66歳からの繰下げ受給も

万七二〇〇円です。

0

る病気やケガが、 初診 Ħ

間に応じて減額されます。 がって、未納期間や免除 から一年六ヶ月経過した (昭和16年4月1日以前 『満額年金』です。 (間がある場合、 その期 入し、保険料を滞納な での40年間国民年金に (障害認定日)にお めた場合の、い 20歳から60歳に しわば

0

十八歲: 威未満の子がいる場六二万二○○○円 子の数に応じて加

間について未納がな から0歳になるまでの

の場合、

昭和36年4

たしている時に支給され 次の保険料納付要件を満 の程度に該当し、 て法律に定められた障害 かつ、

又間の% かゞ 診日前までの被保険者期 期間との合計期間が、 保険料納 初診日の ″未納ゼロ″ の%以上であること、 初診日前の一年 の合計期間が、初納付済期間と免除 前日において、 であれば 閒

O障害基礎年金額 支給されます。



基 年

家の大黒柱を失ったとき

しくは、 夫又は母が死亡し 間との合計期間が、 納ゼロ』であること、 死亡日前の一年間 の%以上であるが 険料納付済期間と免除期 死亡の前日において、 受けることができる状態 で死亡した場合に、 前までの被保険者期間 老齢基礎年金を かゞ その 又は 死 亡 *"*未 保 若

> されていた18歳未 ②死亡した父又は母に生 がいる妻 満 の 了·

O遺族基礎年金額

①妻 (子一人の場合) 八一万五三〇〇円

満 計維持されていた18歳未 の子

に支給されます。

(一人の場合) 六二万七二〇〇 円

佐 其 礎 年 全 額

(ほへのち終)

追从全头	1 11/2 11/2	(女)	マグスポープ
	基 本 額	加算額	습 計
子が1人いる妻	627,200円	188,100円	815,300円
子が2人いる妻	627,200円	376,200円	1,003,400円
了が3人いる妻	627,200円	438,900円	1,066,100円

時 金

		(-) -	への支給)
	基 本 額	加算額	合 計
1人のとき	627,200円		627,200円
2人のとき	627,200円	188,100円	815,300円
3人のとき	627,200円	250,800円	878,000円

こんな給付もあります **交通规范围全流和**

①死亡した夫に生計維持

付 加 年 金

E 金額に 保険 めると、二〇〇円に付加 得た金額 ○○円の付加保険料を納 |民年金の定額保険料 七〇〇円)の外に、 加算され支給され 納 付月数を乗じて が 老齡基礎年 四

婦 年

0

夫が、 死亡したとき、 金の資格期間を満たした 険料を納め、)れ②婚 |継続している③65歳未 号被保険者として保 |②婚姻期間が10年以故人により生計維持 年金を受けないで 老輪基礎年 ①死亡当

> 時 点 支給期間は、 なって)から、 に発生した時は、 の妻に支給されます。 (妻が60歳になる前 受給権発生 妻が 60 歳 65 歳 に

0

○寡婦年金額は、 年金額の%に相当する額 けるはずだった老齢基礎 になるまでです。 故人が 受

死亡一時金の額

保険料を納めた期間	金	額
3年以上25年未満	100,	000円
25年以上30年未満	126,	500円
30年以上35年未満	160,	000円
35年以上40年未満	200,	000円

合せください。 いことは、 国民年金のことでわから 役場の係まで お

な

〇支給額は、 第 れます。 基礎年金などを受けない 険料を3年以上納めた人 と生計を共にした遺族 まま死亡した場合、 なっています。 数によって別表 合に限ります)に支給さ 配偶者・子など→遺族基 ていたときは、 加保険料を3年以上納 年金を受けられない 加 老齢基礎年金や障害 뮹 算されます。 被保険者として保 保険 また、 科納付 八五〇〇 0) いように 故 人 場 付 幼 年

察されます パの先端近さ 、嘴が特徴 した体つきで、 から十五年前 この鳥を最初に見 < 残っています。 灰色で頭 黄 の白斑がよく目 では普 冬期間筆者 雌 飛んでいる時、 大きく黄色

シリー

代町では、

四月下旬ころ

洸

キーと聞こえこれを聞きなし独特の声でさえずりはキーコ 独特の声でさえずりはキーコの鳥は最初にも書きましたが 味のあることと思います。は冬期間多いことは非常に 移 とになっ Ш こえます。 をしますと「お菊二十四」と聞 ぐ 1梨県地 べてみますと温暖 の松代町の記録では 方では、伝説があり、 ていますが このさえずりから な地方に 松代町で 常に興 野するこ

それはイカルは昔一人の女性 お菊も二十四歳になり コキーと鳴き、 でありましたが、 と鳴くんだと言わ 相手にしてくれる男 鳥になって、 それが 年ごろに . 「お菊 キー な きして つ イカルはイカルガ

たも

ので「いかるかど(

ちぢま

いることからだとい

し曲 略で、

mがっている形なて、嘴が太く短か

をか稜

格

好な姿というのは、ずんぐ

ミと同じ位の

大きさです。

の分の

類され、

۲

り科では最大

大きさで、

ムクド

1),

ツグ 不

鳥は、

ズメ目アトリ科に

特な声で鳴い

高らかに、

キーコキーと独

も独特です

姿も不格好

それでいて愛嬌のあるこ

了ほしい」と鳴くそうです。います。埼玉県てに 群を作る ますと頭 なじみ深 するため、 ゅうし)と鳴くことになって 鳥会でイカルがさえずり だという をおぼえてもらえるのです。 (イカルガ)と呼ばれており 44 イカルは、 地 四 り繁殖 近くや人里近くに漂行 六二十四(しろくにじ のよい い鳥で、古くは斑鳥人間にも古くから 、 鳥 で、 ていますと説 秋から冬にかけ 期には生息しな 人が多い Ł

ころ大きな群 Н 力 での ルの 本は番で巣材運びと営 究から見ますと 夕 丸山 四 生活を長野 番同志の群ない ~ 八羽の群 県 五月 بح

防災講演会

☆目 昭和63年10月27日(村) 午後2時~午後4時15分

リージョンプラザ上越 ☆会 コンサートホール

☆講 師 災害問題評論家

(元東京大学工学部教授) 秋 田 - - 雄 先生

「技術社会と安全」 ☆演 題 ☆申し込み

> 松代分遣所へ電話等 により申し込み下さい。 (TEL7-2310)

〔共催〕

上越地域消防事務組合 日本損害保険協会 社団法人

なり 青色 見られただけで、 を生んでいる二十分位 に入り卵を生み、 よいところに作られるとい 営巣樹もシラカバ、ウラジロ なかったということでした。 ことです。 ※と曲 日 一 では番同 た時にだけ追 卵 時ころから七時ころネグラ Ó 巣までやって来て雌 行 の地に灰色と暗褐色の斑 ŀ 個づつ三~四個の淡緑 ミズナラなどの五~ 以 動 線のある卵を生みます。 ルの高さの見張らしの の観察結果では、 巣ができ上 志の争いは見られ 配そうに待って 雄は 4 H1 し行動 ・カルが入 れより遠 がると 一の間、 雌 b が卵 は巣 Ħ. ぅ か 朝 Ł

みで行ない ずる えっ 雛は十 ということです。 離れることがわかっています。 雌が巣にもどる時は巣まで雌 離 あたためます 包まれてかえります。 を送って抱卵をたしかめ巣を て来て雌 を運びます。 を生みおえると、 とどけて夫婦 大きな嘴 主食で、 れる時には必ず雄が一 卵をはじ が聞こえると雄 四日位で真白な羽毛に が はじめのうちは雌は に給餌し、 卵をおえて、 特に豆類 雄も雌 Ď が、 杯に餌をくわえ 雄 餌は植物の種子 は一日ニート そして最 抱 成長するに 施卵は そ の H 雌が も雛に や穀類を 雛がか さえ 緒で ?巣を 卵を れる 雌 あ 四 餌 0 か

> か昆虫も食べます。 う名前もあり んで ます 财份 でク チンと音 、ワシと ル 0) 7 II ル

を

ナ

ワ

IJ

は

までの 後、 イカ 位 聞 この頃を終ります。 と鳴 毎日 かれませんでした。 今年は繁 ルは移 を待っているのでしょう 九月四日城山から千年声も聞かれませんでし やって来て、 尾根を探鳥した際にも 今冬をたのしみにして V) ていましたが、 学校の大松に 殖の終っ 動するのでしょう 雪の中でじっ キー た八 松代の その コキ 週 月 밥

高橋美枝子

お わ び ح 訂 正

大日向

村松美恵子

春日佐利子 本山いずみ

前号のツグミの絵につ 種 の方の鳥は、 前 おわびと訂正をします。 ませんでした。 録のない 一で松代町ではこれま 鳥はツグミですが 申し訳 チジョウ ツグミの 1+

カ

ル



献血は

心の贈りもの

中村 島田 関谷 伊藤 鈴木つゆ子 岩井 藤岡 宮沢みどり 恵美子 直美 房代 幸子 美穂 道雄 剛也 隆行 惠 功 ございました 室岡 鈴木 横尾 斉藤 **武** 田 井上日登美 関谷和佳子 裕子 容子 男 阿部 牧田 小島 佐藤 小野島 柳 佐藤亜希子 久美子 久美子 康代 博文 光秀 郎 9月3日 佐藤 村山多恵子 牧田 中沢 小堺 中村 村山 山岸 齊藤 小堺 高橋久美子 /るみ子 いずみ 聡美 和美 存樹 悦彦

西潟 牧田

誠

次回は 24 B (月) 5 年 最 後 ς

午前 後三時 ま て 役 場 前

献血者名 太字は400㎖

▼ 印鑑証明書の請求は「印鑑登録証」で



用紙に直接押印し、を持って来ていただる場合、窓口に実印 を取る時は、 をお渡しします。 入された赤い『印鑑登録証 を役場の登録原票と照合して ました。 これからは印鑑登録 あなたの登録番号が記 ただき、 実印(登 印鑑証明書 その印影にき、証明 をした 録印

ですので、登録証は実 役場戸籍係までご連絡下さい 証明して交付することとなり 登録証』を持参して下さ ご不明な点がありましたら な 窓口では登録原票の写しを ぉੑ ので、大切に保管して下証は実印同様重要なものお、登録時にお渡しする

今まで印鑑証明書を交付













新潟県最低賃金 昭和63年10月1日から

18 **3,** 653₈

(時間給の場合) 1時間

※上記の最低賃金額は業種、業務、ハートタイマー、臨時雇を問わず適用されます -労働保険の未加入事業場は今直ぐ加入手続きを。 お問い合わせは 新潟労働基準局・各労働基準監督署へ

交通事故のご相談は お気軽にどうぞ 無料でご相談に応じております

午前9時半~午後4時40分(平日)

土曜日は正午まで(第2・第3土曜日は休みます)

◎専門の相談員が親身になってご相談に応じます

◎弁護士相談日:毎週水曜日午後1時~4時

社团法人日本損害保険協会

新潟自動車保険請求相談センター

新潟市本町通七番町1082 興亜火災新潟支店ビル5階 (新堀通り本町角)新潟調査事務所内 **☎025-225-1851(直通)** 025-225-2225

~ 電話のご相談もお受けします ~

乳がん検診のお知らせ

下記の日程で、乳がん検診を実施 いたします。

4月に受診の申込みをされたかた には通知いたしますが、申し込まな かったかたで受診を希望のかたは、 電話で申込んでください。

「由认告」役場衛生係 7-2220

Ş	(11	スンルナー	1又"勿[軒]土	17下 (- 44	220
}	月	El	受付時	間	会	場
}	10月1	8月(火))]	
}	10月2	0日(水)	12:30	~	総	合
}	10月2	5日(火)	14	:30	体	育館
ž	10月2	7日(水))]	

※ 料金は 100円です。

停 電

10月13日(木)前9:30~12:00 竹 所・峠・濁

10月26日(水)前9:30~12:00 松代の一部

健康家庭に報償

町では国民健康保険強調月間にちなみ、国保 加入世帯で被保険者となっている全員が、医療 給付を受けなかった世帯の健康をたたえ、毎年 10月に記念品を贈呈しております。

今年も次の方々が該当し、近く記念品を贈呈 する予定です。

健康家庭該当者

◎ 5年以上

室野 小堺 凹さん(安 堂)

◎ 3 年以上

松代 田北 恵子さん(麻 衣)

◎1年以上

峠

牧田

松代 関谷 武利さん(東京堂) 松代 中村 武則さん(ひろしや) 松代 関谷 光明さん (なかのや) 松代 関谷 正好さん(文 甚) 芳雄さん(よしや) 犬伏 山本 犬伏 小島 洋一さん(しぶみや) 幸二さん(隠 小林 居) 滝沢 名平 武田由太郎さん(五枚田)

幸雄さん(杉

林)

険遠隔地被保険者証を必要

の国保の窓

╒╇╇╇╇╇╇╇╇╇╇╇╇╇╇╇╇╇╇╇╇╇╇╇╇╇╇╇╇╇╇╇╇

問合せ

先

総合体育館事務

込ん

申込先

をしています。 行 ての苦情 政 委員

その解決や実現を図るお手伝 て、 公共機関が行う仕事などに 例えば次のようなことにつ お気軽にご相談下さい 要望をうけて、

七一二〇三三)です。 務庁長官から委嘱 、礼子さん(長命寺、 皆さんか れた ◇説明をうけ 7 ◇このようにしてほし -処理の仕方 のではないか。 公共機関が行う仕事につ 相談は無料で秘 たが が間

違って

2納得

言ができ

話

本山

町

総

10

月

16

日から22

日ま

で

談

週

間

す

ŋ

の行政相談委員は

も受け付けます。 守られますし、 つでも気軽にご相 電話での相談 談 密は 下さ

9

-ボール大会

峠 難関を突破、 529m 掘削 順調に掘削 残り 27 Im

温

(十月初旬)

更させていただきました。 しております。 今回も多数の ました本大会を今 切 昭和六十三 総合体育館 総合体育館 るチームは、 六人制バレー チーム ・十月二十三日に変 協会に登録してあ 十月二十三 十月十五日まで 白に 役場総務課石 参加をお 開 二千円 催 事務室又 無料 日 ボ してま は 1 Н

日

防 運 犯

日(火)~10月20日(木)

車 ⊙ ⊙ ⊙ ⊙⊙⊙⊙ り示す り示す ドアロック©©© いたわり示す

郡展にあなたの力作を П 展覧

郡内の交通事故 発生 状 況

(9.20現在)

松代町での	傷者	死亡	件数	町村
事故の形態	10	1	9	安塚町
車車車バ車自	16	1	13	浦川原村
イ イ イ イ	11		10	松代町
バ 対自事 イ 転	11	1	6	松之山町
車ク人人車故	3	1	4	大島村
3 1 2 1 2	3		3	牧 村
10	54	4	45	<u>#</u>

体用用 内に れでも出品できます 月する高校生以上の 内に住民登録また! の四部門です。 の絵 催 7 広者館 一十二日 型・工芸、 一日間、松丸 一日間、松丸 一日間、松丸 一日間、松丸 一日間、松丸 各部門ごと たしの 之二十 の出議す。 書部品道門を 方 勤 会 務 町匹

出品についての問合せは公好成績をあげています。 平)、斉木勉さん(松代)がそ平)、斉木勉さん(松代)がそ 書道で高温を代明の ⊜沢優美子さん(E呼年の大島会場で町の方々の出品も (松代)

が授与されます。以内)を選考し、秘展賞(一点)、奨 点)、奨励賞 賞 🖹

食は新潟 豊かな緑

ナイスふ~ど新潟

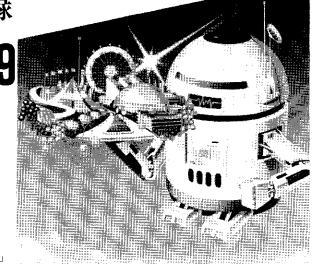
食と緑の博覧会

64年7月14日金~9月3日日・52日間 新潟市・新潟産業センター周辺地

前売券は役場・産業課に あります。



「ダンちゃん」





グアム旅行など総額1,000万円の 豪華賞品が当たる抽せん券つき!!

- ●第1回抽せん会 昭和63年12月9日
- 第2回抽せん会 昭和64年7月13日

■入場料金

区分	前売	当日					
大 人	1,500円	1,800円					
高校生	1,000円	1,300円					
小・中学生	500円	800円					
幼児(3歳以上)	200円	300円					



けっこういいですよ!!

とんどが都会へ出ていったこ こにいるのだろう』とよく思 に残った時、。私だけなんでこ 高校を卒業してこの松代町 同級生達のほ と思うと、思えば思うほど悔 もその一人になるはずだった たようで……。 とを考えると一人とり残され しくて、むなしくて、 本当ならば私

たものです。

思います。 は早いものだとあらためて あれから五年、月日のたつ ようもなかったのです。

どうし

今はというと、この原稿を書 ほど悩んでいたことなのに、 くことにならなければ、 不思議なもので五年前あれ 思い

> もないなんて……。 ていたのに、今ではもう何と す。あれほどいやだなと思っ の流れが忘れさせていたことで 出きずにい たでしょう。 時間

え方が大人になったのか、 せてもらって、 足しています。家にいて楽さ わからないのですが、今は満 たまた心が勝手に妥協しちゃ もらって、 たのか、 周りに慣れてきたのか、 自分で自分がよく 最高ですよね。 我ままさせて ま た 考

> 毎日 都会生活にあこがれが全く が幸せ かも だと思いま れません 毎 П

じるし、 つぶされるような圧迫感を感 るし、狭いスペースではおし いると息がつまって苦しくな と思います。大勢の人の中に るのです。 まうのは、 満足している生活をやめてし ない!
それに今の毎日を、 毎日生活するなんてとんでも いっただけでもこうですから、 たぶん私にはできないことだ なくなった訳ではないけれど わずか数日間遊びに すごく恐い気がす

であって、松代町もけっこう いい町だと思うのです。 とにかく私には今がい ٧٦ 0



籍 窓

(8月21日~9月20日受付

t 多い人生を (結婚)

務 諏訪部正 犬伏・数円 -美 ん

 \mathbb{H}

小

松 永 哲 郎 齋藤真理子で 松代中学校

げ んきなよい子に(出生)

高野裕 希がん 武・良子が

泄 |橋いつかザヤ、重人・美智子" 『勇輝』・《 正明・美幸 》(長女・小荒戸・きぜん) 長男・松代・殿倉)

齌

藤

鈴木佳 長女・松代・成田屋 長男・莇平・木梚 修・房子でん

ご冥福を祈ります

室岡コマン。

94

歳

(仙納:一 一枚田)

チき 田 野倉・三左 92 瀎 エ P9

チョぇん (蒲生・とみん 86 歳

丸

Ш

和 (松代・ 52 歳 石田

屋

鈴

水

(死亡)

将吾がんでした。 正男・里江~の二男将吾は お詫びいたします。 先月号の出生欄中で、 佐藤

いました。



お 詫



ラソン大会。 顔をゆがめて走るマラソンラ で行われた第十 に咲きそろったコスモスが ンナーを涼しい顔で見送って は、 道路脇には、 マラソン日 天候不順で心 北越北線松代駅建設予定 朝から陽がさし 回町 人の背丈ほど 配されたこの 民健康 好

思ったより少なかったのが きましたが、 り盛りあがりを見ることがで 大勢の児童・生徒の参加によ ッピリ寂しかったですね。 第十回を数えるこの大会 一般者の参加 7

&\$\$\$\$

短歌 子供ら帰省

きて飲めぬわれを中に乾杯す 東都より帰省の子供らとりま 和 作

二番蕗煮しめて月見の酒

村

中等

を狸が歩く居待月

郷

せし子らの寝起きの六畳

若者二人の体臭匂う

子供 が らの 故里なりき空澄 みて

家の上を鳶の舞いゆく

夏祭終

わ Ø

n

ば潮の

ひくごとく

人ら去り

き風は秋となる

俳 句

にひたる 値 れ野良 引菜の 下りの米価や伏せし稲に雨 交いに結い藁腰に 一着脱ぎ捨て雨月の 胡 麻あえ甘し 峽 田枯 耕 П1 別る 湯 水 Ш

底に ねたる山萩たわみ散り急ぐ 動くものなく秋の水 去 水

中

東川

伏せ稲や山の昼餉は菅の箸過ぐ 秋蝶のもつれ合いつつ視野を 稲を刈る小さき峡田 の夫婦かな 堂 水

> 朝の露 揚 芙蓉大きく開きたり

農政を憂 首振 る稲穂かな 茶

名月の登りかかりて旅終る 丈五尺一本足の大案山 了い耕

晴 n Þ 保内 と夜更けて残る虫の /の花屋訪 れ 千代 沙

声

 \mathcal{U}

秋

大佛殿 の要 峰 元

秋

0)

虹

稲架襖より近づきし火星みる近道やくぐる道あり葛の花 明

轫 蝶 一つの花を定めけ

稲架襖くぐり 顔出す郵便 夫 人

空に名月さやか村眠 る 花

龍

詰将棋

●ヒント…玉に逃げられては

八段

北村昌男

10分で2級、5分で初段。

ふさ女

野に咲く花

の岩場など、 全国的に、 湿った所に 山野溪流沿

葉は腎臓状の円形で直 毛が密生する。表に

イドグサとも言う。

~八糎、 葉脈に沿って白色の筋がある。

キノシタ科の常緑 の多 径三 生え

香 角 飛 ٤ 五|金 四 4 五 歩 六 t

2 3

4

金四2、金回、海角二1、正三2 三8、迂间、海珠三3、各種琳科語>

。入せまれ結下以正正なおでき 、そころの萬三 8。 すづさい取の 角な砂むお海角二1の次さ4角三8目 でます。3四玉なら2五竜まで。 粉と海弥二2本式の山田歩逝 〈鏡稿〉 |後指手ででま

ったり、 に植えられた。 別名イドバス、イワブキ けなどには、 はれものや、 やけど、

ることが出来る。 民間薬として使 は 汁の実などにして食す もんだりしてはりつ 年 中 天ぷら、 葉を火にあぶ わ れ 庭 あえ